

永隆橋通（氷点橋、北彩都橋）供用開始について

1. 概要

- 永隆橋通は、神楽地区の国道237号を起点に、旭川市中心市街地を經由し、新旭川駅に至る骨格幹線街路です。
- 旭川駅前地区と神楽地区とは一級河川石狩川水系忠別川及びJRの函館本線などにより分断されており、神楽地区も含めた旭川駅周辺中心市街地の一体的なまちづくりが長い間の懸案となっていました。
- 氷点橋などの整備については、「北彩都あさひかわ」の主要事業のひとつとして、鉄道高架事業などと連携しながら平成16年度から本工事に着手し、平成23年4月1日をもって供用を開始できることになりました。
- 橋梁名については、旭川市が事務局となり、「(仮称)新永隆橋・(仮称)昭和橋橋梁名称検討委員会」を設置し、公募を行った結果、忠別川に架かる橋については「氷点橋」、駅寄りの公園上に架かる橋については「北彩都橋」と命名されました。

2. 計画内容

事業主体：北海道外

所在地：アサヒカワシマヤシタドオリ9チョウメ アサヒカワシカグラ1ジョウ9チョウメ
旭川市宮下通9丁目～旭川市神楽1条9丁目

延長：L=0.68km W=35.0m 車線数：4
(氷点橋L=178.6m、北彩都橋L=53.4m、W=28.5m)

事業着手年度：平成15年度（事業認可：～平成22年度）

本工事期間：平成16年度～平成22年度

全体事業費：C＝ 約40億円（高架費、区画整理費含む）

供用予定：平成23年4月1日(金) 午前10時

アサヒカワシマヤシタドオリ9チョウメ アサヒカワシカグラ1ジョウ9チョウメ
(旭川市宮下通9丁目～旭川市神楽1条9丁目)

